

北海道議会議員  
Go forward! 北海道 たけだ 浩光 道政通信 ひろみつ

所属会派：民主・道民連合

住みやすい『西区』、そして『北海道』をめざします!

発行：たけだ浩光政務事務所 〒063-0081 札幌市西区琴似1条7丁目1-35 ☎011-624-8030 FAX 011-624-8031



◀民主・道民連合▶

---頼みますよ---

当初予算編成に向けた要望・提言提出!

知事!!

道内全域で、今なお急増し続けるオミクロン株。この感染力に道民の不安は募るばかりですが、1月27日にまん延防止等重点措置が適用されてからも、なかなか収束の気配が感じられません。経済活動へも配慮しなければならない中で、行政としては非常に厳しい状況下でのコロナ対応や政策が求められています。

しかし、そんな中、我が会派として今年の第1回定例会における当初予算編成に向け、2022年1月31日に道政全般にわたり14分野64項目にわたる要望・提言書を知事へ提出してきました。



鈴木知事へ直接伝える北口雄幸会派会長

### 行財政運営の確立について

- ◎ コロナ禍においても行政サービスの質の低下を招かないよう、職員が意欲的に働ける職場づくりのための「スマート道庁」の推進に取り組むこと。
- ◎ 長期化する新型コロナウイルス感染症が道民生活に及ぼす影響を考慮し、機動的に感染症対策や経済対策を講ずるなど柔軟な取り組みとすること。また、政策評価・検証を実施し、道民意識の変化を踏まえ、スピード感を持って対応すること。
- ◎ 「行財政運営の基本方針」の推進にあたっては、効果の達成度など随時検証しながら、道民への分かりやすい情報公開をより推進すること。

### 新型コロナウイルス感染症対策に係る取組等について

- ◎ 医療・介護・福祉分野等における財源の十分な確保とその従事者の処遇改善をはかるとともに、将来に向け人材の育成に取り組むこと。



民主・道民連合として鈴木知事へ要求書を手渡す

- ◎ PCR等検査無料化事業について、迅速かつ安心して受検できるよう事業所登録の加速と1事業所の検査件数の拡充をはかること。
- ◎ 2度にわたるコロナ対策の検証が、十分反映された政策が講じられているとは言い難いことから、速やかな追加検証とその反映を求めるとともに状況公開すること。
- ◎ 3回目のワクチン接種の前倒しや、12歳未満の小児への接種など、円滑接種のために道が調整役を果たし、加速化のために道が大規模接種会場を再開すること。
- ◎ 実態に見合った経済支援を幅広い事業分野に対し講ずること、雇用・所得の改善に向けた支援継続を国に強く求めること。
- ◎ 後手の対応の繰り返しではなく、最悪を想定した先手、先手の対応を講ずること。



## 経済と雇用対策について

- ◎ 中小・小規模企業への支援継続や、札幌商工会議所が国から委託を受けた「北海道事業承継・引継ぎ支援センター」の周知徹底と利用促進をはかること。
- ◎ コロナ禍に名を借りた不合理・不適切な事案に対し、法に照らし合わせた厳正な対処や雇用の確保と安定に取り組むこと。
- ◎ ポストコロナ時代を見据えた観光振興税のあり方を再検討し、将来にわたる安定した観光資源の確保をめざすこと。
- ◎ カジノを含む統合型リゾート(IR)構想は、国会議員逮捕も含め、税金の投入には道民の理解を得られないことから、誘致を断念すること。

## エネルギー政策について

- ◎ 「北海道省エネルギー・新エネルギー促進条約」による位置づけの通り、再生エネルギー等の積極的推進を前提に、原子力エネルギーを中長期的に低減させ、最終的にそれに依存しない社会を実現すること。
- ◎ 幌延深地層研究計画は、成果の有無に関わらず2028年度で終了することや、協定に基づき埋め戻すことの書面確約をとり、国や関係機関に強く働きかけること。

## 教育課題について

- ◎ 「給特法」・「給特条例」の改正後もなお厳しい勤務環境が継続していることから、業務の削減や人員増が必要だ。特に、いじめ問題に対する職員定数の増員、ICT支援員の確保に取り組むこと。

以上、抜粋ではありますが知事へ提出した要求書の内容を掲載しました。この他、地方創世の推進、医療・福祉、防災・減災、地域交通、環境、農林水産業、人権等、アイヌ政策や北方領土返還の取り組みなど、まだまだ多くの要求・提言が盛り込まれておりますので、全文は「たけだ浩光HP」にも掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

## プチコラム

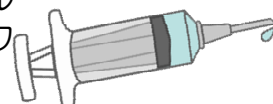
3回目のワクチン接種が始まっています。しかし、3回目にはモデルナ社のワクチンを使用することが多く、1、2回目にファイザー社のワクチンを接種した方は、交差接種に対する不安や、副反応に関する心配などが多いと聞いています。

ファイザーもモデルナも、ワクチンとしてはmRNAワクチンで同じ種類のもので。違いは内容量がファイザー30 $\mu$ gに対し、モデルナ100 $\mu$ gという違いだけです。(詳細はバックナンバー14号参照)しかし、今回3回目のモデルナは半分の50 $\mu$ gを打つことになっています。

自家用車のガソリンで、いつもはエネオスしか給油していない人でも、旅先での緊急の給油では出光を入れなければならないこともあると思います。銘柄は違って、ガソリンはガソリンです。車は問題なく走ります。

ワクチンはガソリンとは違いますが、ファイザーもモデルナも同じ種類のワクチンです。重症化する人を1人でも減らすため、銘柄に関係なく3回目ワクチンを打つことが重要です。

ファイザーもモデルナも、**同じ種類**のワクチンです。



## たけだ浩光プロフィール

1960年	江別市生まれ その後、すぐ札幌へ
1973年	札幌市立二十四軒小学校 卒業
1976年	札幌市立手稲東中学校 卒業
1979年	北海道立札幌西高等学校 卒業
1980年	北海道大学水産学部 中退
1985年	北海道大学医学部附属 診療放射線技師学校 卒業
1985年	札幌医科大学附属病院勤務
2019年	北海道議会議員 初当選

〒063-0081

西区琴似1条7丁目1-35さんぱちビル2階

TEL:(011)624-8030

FAX:(011)624-8031

e-mail : info@takeda-hiromitsu.com

## お知らせ

シリーズ企画第3弾は、次回道政通信第18号から掲載予定です。「放射線」に関する様々な視点から構成したいと考えております。ぜひ一読いただければ幸いです。また、ご意見・ご質問などございましたら、ぜひお寄せください。



たけだ浩光オフィシャルWebサイト

たけだ浩光

検索

オフィシャルWebサイトで道政通信のバックナンバーがご覧になれます

